



2年ぶりに大阪市街で開催された今大会は、気温8.2度、北北西の風1.2メートルの条件下、招待選手11人、ネクストヒロイン選手2人、男子ペースメーカー6人を含む286人がスタートラインに立った。



ペースメーカー3人が松田瑞生(ダイハツ)、上杉真穂(スターツ)の2人を5キロ16分28秒のハイペースで引っ張り、2時間20分切りの国内最高記録を目指した。松田は25キロ過ぎから上杉を引き離し、独走態勢に。30キロまでは日本新記録に迫ったが、その後はペースを落とした。

第41回大会 2022.1.30

- 参加者:286人/日本286人(男子ペースメーカー6人を含む)
完走260人(男子ペースメーカー3人を含む)
- 気温:8.2℃(スタート時) 湿度:47%(スタート時)

順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム
1	松田 瑞生	26	ダイハツ	2:20:52
2	上杉 真穂	26	スターツ	2:22:29
3	松下 菜摘	27	天満屋	2:23:05
4	谷本 観月	27	天満屋	2:23:11
5	阿部 有香里	32	しまむら	2:24:02
6	佐藤 早也伽	27	積水化学	2:24:47
7	川内 理江	26	大塚製薬	2:25:35
8	岩出 玲亜	27	千葉陸協	2:27:14

※記録は男女混合レース扱い



上杉真穂(スターツ)



松下菜摘(天満屋)

それでも2位に1分37秒差をつけ、大会新記録(男女混合レース)となる2時間20分52秒で優勝した。上杉も粘りの走りで2時間22分29秒の2位。自己ベストを大きく更新した。

3位集団からは松下菜摘(天満屋)が抜け出し、2時間23分05秒で3位に入った。上位7選手がMGC(マラソングランドチャンピオンシップ)の出場設定記録を上回るハイレベルなレースとなった。